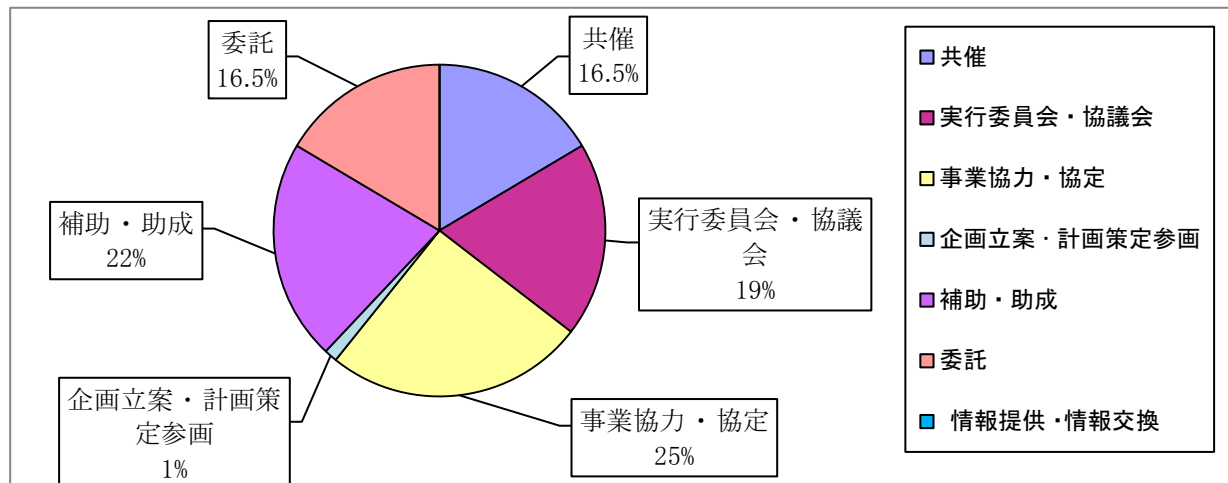


沼田市の市民協働事業（平成29年度）

1 協働事業の状況

平成29年度 協働事業の手法別の状況です。

区分	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	企画立案・計画策定参画	補助・助成	委託	情報提供・情報交換	計
事業数	13	15	20	1	17	13	0	79
割合	16.5%	19.0%	25.0%	1.0%	22.0%	16.5%	0.0%	100.0%



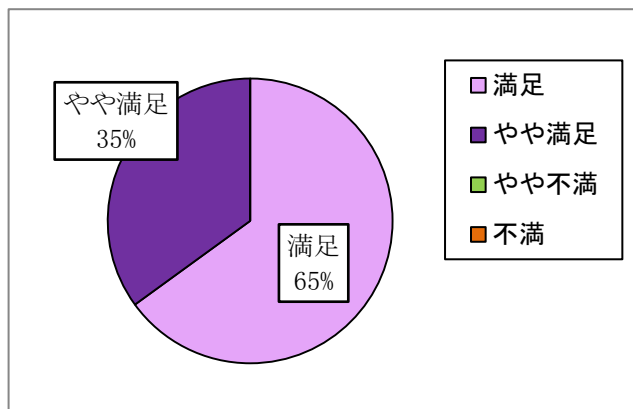
2 協働事業の評価結果

今回実施した調査では、協働という視点で事業を捉えて、各事業の評価・点検を行いました。

その評価結果（満足度）については、次のとおりでした。

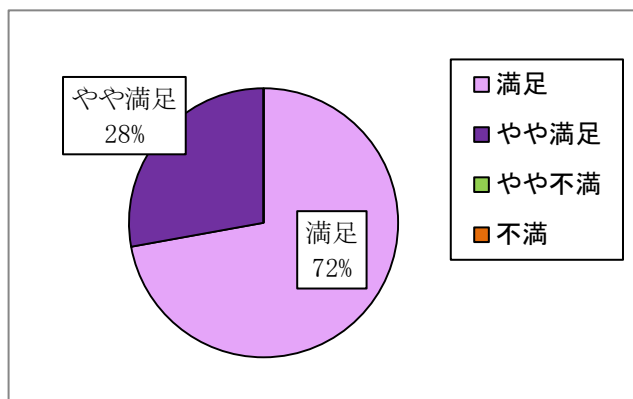
○市の担当者の満足度

区分	事業数	割合
満足	51	65%
やや満足	28	35%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	79	100%



○協働のパートナーの満足度

区分	事業数	割合
満足	57	72%
やや満足	22	28%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	79	100%



3 平成29年度の事業より紹介

平成29年度に協働事業として取り組んだ事業から、手法別に2事業を紹介します。

No.	担当課	事業名	手法別	パートナー	事業内容
4	白沢支所	白沢ふるさとまつり	実行委員会・協議会	白沢ふるさとまつり実行委員会	地域に根ざした伝統的な行事であり、白沢地域の振興を図るとともに、住民相互のつながりや来訪者との交流を促進する。
7	利根支所	とねふるさと風のまつり	事業協力・協定	とねふるさと風のまつり実行委員会 (利根町観光協会)	地域住民参加型の手づくりイベントの開催により地域の活性化と観光振興の一助とする。

No.4 白沢ふるさとまつり



迫力！各地区から集結した神輿の競演

No.7 とねふるさと風のまつり



子どもだけで、シロヘビ神輿を担いだよ



白沢産新鮮野菜やりんごジュースなど
地域特産物は、とてもおいしい！



クライマックス、大人神輿が登場



地元の和太鼓団体「二荒太鼓」の演奏



楽しいね！ みんなでますつかみ

4 平成29年度 沼田市協働事業一覧

	担当課	事業名	手法別	協働のパートナー (記入団体)	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
						担当課	パートナー
1	防災対策課	防火・防災事業	補助・助成	沼田市八職工防火協力会	歳末特別警戒・出初式・災害時の消防機関への協力	当該団体が行う歳末特別警戒は、消防団が行う歳末特別警戒とともに年末の恒例の事業として市民に深く認識されている。今後においても、ともに実施していきたい。	特記事項はなし
2	企画課	沼田市国際交流協会事業	補助・助成	沼田市国際交流協会	国際都市交流及び親善に関する国際交流の啓発と普及 国際交流に関する調査研究	市内に在住する外国人向けの日本語教室、交流の場として外国人料理教室や国際交流フェスティバルを開催し、多文化共生社会の実現に向けて取り組んだ。	市内に在住する550人を超える外国人が市民とともに楽しく暮らせる多文化共生社会の実現に向け、各種事業を実施した。
3	企画課	準市民交流事業	実行委員会・協議会	沼田市準市民交流会実行委員会	市民参加の事業運営を図るため、各種団体の代表者で構成する実行委員会を設置し、交流会を開催する。	交流会参加者数は、実施曜日などの要因により多少の増減はあるものの、内容的には好評で、準市民と市民との親交が深まるなど一定の成果を上げている。	交流会参加者数は、実施曜日などの要因により多少の増減はあるものの、内容的には好評で、準市民と市民との親交が深まるなど一定の成果を上げている。
4	白沢支所	白沢ふるさとまつり	実行委員会・協議会	白沢ふるさとまつり実行委員会	地域に根ざした伝統的な行事であり、白沢地域の振興を図るとともに、住民相互のつながりや来訪者との交流を促進する。	幅広い世代の参加者相互のつながりや多くの来場者との交流が図られており、地域振興事業として重要な役割を果たしている。今後も地域の伝統行事として継続していく必要があると考えられる。 (改善点など)前年度に引き続き、会場において地域特産物等の提供や観光パンフレットの配布等を行い、白沢地域並びに本市のピーアール等にも努めた。	白沢町内各地区の夏祭りと同じくして開催する一大行事として、広く定着している。地域の更なる振興のために極めて重要な事業であり、今後も継続して開催していきたい。 (改善点など)前年度に引き続き、会場において地域特産物等の提供や観光パンフレットの配布等を行い、白沢地域並びに本市のピーアール等にも努めた。
5	白沢支所	白沢町盆踊り大会	実行委員会・協議会	白沢町盆踊り大会実行委員会	伝統行事である盆踊りを継承し、親睦と交流の場とする。	住民相互の交流や地域の振興が図られており、地域振興事業として重要な役割を果たしている。今後も地域の伝統行事として継続していく必要があると考えられる。	白沢町における伝統行事であり、また、後継者の育成も重要であることから、今後も継続して開催していきたい。
6	利根支所	吹割の滝開き・無事故安全祈願祭	事業協力・協定	利根町観光協会	シーズンの開幕を祝い、無事故を祈願する。	吹割の滝観光協会会員の高齢化が進み、滝開き、無事故安全祈願祭を執行できる後継者の確保が心配される。 (改善点など)吹割の滝観光協会関係者の事業に対する自主性・自立性が現れてきた。	特記事項はなし
7	利根支所	とねふるさと風のまつり	事業協力・協定	とねふるさと風のまつり実行委員会 (利根町観光協会)	地域住民参加型の手づくりイベントの開催により地域の活性化と観光振興の一助とする。	各種団体の運営協力者が常に確定している。事業運営に必要となる人員確保についてはそれぞれの団体に責任を持っていただいているが、祭り自体を成功させるには、さらなる関係団体との連携の強化が必要である。	以前から利根町地域全体の祭りとして実施していると働きかけてはいるが、地域からの参加はない。今後も利根町全体のイベントだと感じられる内容となるように改善をしていきたい。

8	利根支所	老神温泉そば祭り	事業協力・協定	老神温泉そば祭り実行委員会 (利根町観光協会)	奥利根高原そばを元に滝と温泉を結びつけた新たな観光の創出と地域の活性化を図る。	一般市民・観光客との交流が以前よりも多く図られているが、農業・商業・観光との連携とともに、イベントの運営に関わりながら更なる老神温泉地域の活性化が図られることを目指した内容とすべき検討を今後もしていく必要がある。	ここ最近では、ポスター・チラシの原稿作成を実行委員自が行い、開催チラシの配布についても、関係する実行委員により区分けし、経費を抑えるため、区長を通じて配布している。今後も経費の節減に努めながら、更に事業内容を検討する必要がある。
9	利根支所	老神温泉赤城神社 節分祭	補助・助成	老神温泉観光協会	赤城神社での節分祭を開催し、厄払いと観光振興、集客を図る。	パートナーがポスター・チラシを自ら作成し、参加者の募集に努力しているが、まだまだ参加者が少ないので、もう少し広く周知していく必要がある。	老神温泉の行事の中でも重要なお祭りであり、地域に根ざした伝統行事として近隣住民だけでなく、観光客も参加している。観光交流または地域振興という側面から、今後も継続が望まれる行事である。
10	利根支所	都市との交流事業	実行委員会・協議会	利根町少年野球交流事業実行委員会	少年野球及び体験事業による都市住民との交流会の開催	少年野球を中心とした交流は定着しており、成果が認められるが、今後はその他の手法による都市交流の実施を検討する。 (改善点など)平成25年度まで相互交流を実施、平成26年度は横浜の大会に出場、平成27年度は休止、平成28年度より事業再開。	少年野球以外での交流を視野に入れて活動を行っていく。 (改善点など)平成25年度まで相互交流を実施、平成26年度は横浜の大会に出場、平成27年度は休止、平成28年度より事業再開。
11	生活課	沼田市地区交通安全会連合会活動事業	補助・助成	沼田市地区交通安全会連合会	交通安全運動の推進・普及徹底及び交通指導	各地区交通安全会が連携し、交通安全運動等に取り組むことにより、交通安全への啓発や、交通事故防止に寄与している。	・各地区交通安全会が連携し、交通安全運動等に取り組むことにより、交通安全への啓発や、交通事故防止に寄与している。 ・各地区交通安全会との情報交換を今まで以上に行っていきたい。
12	生活課	タフティクラブ活動事業	補助・助成	タフティクラブ	幼児と保護者の交通安全教育や研修の実施	クラブ員の経験や技能を生かし、市内の保育園や幼稚園のみならず、市外での交通安全教室を実施する等、子どもたちの交通安全教育に大きく貢献している。また、依頼により高齢者向けの交通安全教室も実施した。	クラブ員の経験や技能を生かし、市内の保育園や幼稚園のみならず、市外での交通安全教室を実施する等、子どもたちの交通安全教育に大きく貢献している。また、依頼により高齢者向けの交通安全教室も実施した。
13	生活課	沼田市くらしの会活動事業	補助・助成	沼田市くらしの会	3R運動や各種講習会開催など、賢い消費者を目指す。	・消費者講演会の共催者として、自らも消費者問題を学ぶほか、併せて会員以外への消費者啓発に努めた。 ・有価物回収やゴミ問題、グリーンカーテンの取り組み等を行い、消費生活のみならず、広く環境対策等にも取り組んでいる。	・各種講演会や勉強会に参加することで、多様化する消費者問題について学んだ。また、講習会や研修視察により、会員相互の親睦を深めることができた。 ・有価物回収やゴミ問題、グリーンカーテンの取り組み等を行い、消費生活のみならず、広く環境対策等にも取り組んだ。 ・会員の高齢化により会員数が減少しているため、新規入会者を募集している。
14	生活課	市民協働によるまちづくり事業補助金	補助・助成	市民活動団体、地域コミュニティ代表者など (川田地域資源研究会)	地域の活性化や問題解決に向けた活動への助成 事業審査は市民が行う。	29年度は5団体が協働によるまちづくりを推進するため、補助金を活用し事業を実践した。事業の実施報告会を講演会と同時開催したことで、多くの人に各団体の事業を周知することができた。予算の範囲内で交付決定をするため、補助率を下げての交付となったため、今後の予算計上については状況を判断したい。	イメージキャラクターを作成したことにより親しみやすいチラシ、案内看板を作成できた。また史跡の整備や案内看板の設置をすることで、地元住民の関心を高め郷土愛を育み、外部からの誘客に資することができた。学習会の開催では、未来に向けて地域の資源を伝承する人材育成が図れた。今後も、活動成果を広く周知したい。

						(改善点など)昨年度と同様に4月1日からの事業実施ができるよう、3月中に審査会を開催している。今後も講演会と同時開催として、さらなる補助金や、その活用事業を周知したい。	(改善点など)新規事業であり、昨年度からの課題はないが、来年度継続のため、円珠姫を中心に、川田地区の人物、景勝地、名刹、史跡等を全国に発信するため今後もマスコミ等に周知を図り活動を継続したい。
15	生活課	市民活動センター管理運営事業	企画立案・参画	市民活動センター運営委員会	市民活動センターの円滑な運営について検討する。	市民活動センターの事業計画などについての意見を聞き、事業実施に反映できるように努めた。平成31年度に予定されるテラス沼田への移転に関しては、事務局より検討課題を提示した上でさらに検討を進めたい。	運営委員会はセンターの事業について検討する場として大変重要であるとする。今後のセンターの運営については、テラス沼田での事業実施を含め協議をしていきたい。
						(改善点など)テラス沼田への移転に関しては、今後も引き続き検討としたい。	(改善点など)テラス沼田への移転に関しては、今後も引き続き検討としたい。
16	生活課	男女共同参画推進事業(セミナー開催、計画の推進)	共催	北毛地域人権啓発活動ネットワーク協議会、大学准教授、一般市民等(北毛地域人権啓発活動ネットワーク協議会)	セミナー開催により、市民の意識啓発を図る。企画の段階から市民参加で検討する。	セミナーの連続講座では、参加者が必要な情報を市民目線で考え、テーマ内容、構成を決定し「男女共同参画情報紙 ハピネス」を作成することができた。講演会でも福祉作業所に呼びかけるなど、工夫した取り組みにより集客に効果があった。	実践講座では、参加者が聞くだけの講座でなく、問題提起、調査、構成を自ら行い、「男女共同参画情報紙 ハピネス」を作成できた。講演会でも、工夫をしたこともあり、たくさんの方に参加していただいた。
						(改善点など)昨年に引き続き柔軟な企画が図られた。	(改善点など)講演会、実践講座ともに工夫して取り組みができた。今後も意見を出し合いながら、多くの方に参加いただくように工夫をしていきたい。
17	環境課	環境啓発事業(環境フォーラムぬまた等)	委託	ぬまた環境ネット	ぬまた環境ネットの運営と環境啓発事業(環境フォーラムぬまた)の開催	子どもから大人まで楽しめる内容だったため、多くの市民に環境問題を考える機会を提供できた。	年度当初に計画した市民に向けた環境啓発事業については、各加盟団体の活動により滞りなく消化することができた。しかしながら、地球温暖化をはじめごみ問題など、身近な環境問題について、市民一人ひとりの意識や関心度を把握するまでに至っていない。自己満足型から、啓発活動の効果を検証するための環境問題に対する市民意識調査を検討することが今後の課題である。
						(改善点など)年1回発行している「ぬまた環境ネットだより」でテーマとした食品ロス削減について主体的に取り組むこととなり、環境フォーラムでフードドライブを実施するとともに、来場者へチラシ配布により周知を行った。	(改善点など)「ぬまた環境ネットだより」の発行 年1回発行、全戸に配布している。代表者会議に特集テーマを諮り、テーマに適した編集委員を加盟団体から選任した。 「環境フォーラムぬまた」講演会講師の選考 講演会講師・テーマについて、加盟団体からアンケートをとりその結果を尊重し、選考した。
18	環境課	環境啓発事業(ブナ幼木移植)	事業協力・協定	ぬまた環境ネット(利根沼田自然を愛する会)	玉原高原の再生のためケヤマハンノキ林にブナ幼木を移植する。	移植した幼木が根付き一定の成果は見られるが、事業目的達成のため、長期的な視野に立って事業を継続することが必要である。	・市民の参加がまだ不十分であるが、参加者の輪の広がりがあがる。 ・作業後の経年結果等を記録しているので、その結果を公表することにより、今後の事業発展・啓発効果を図れる。

							(改善点など) ・市民のほかに、県民にも広報で知らせる工夫をした。 ・メディアの取材もあった。
19	環境課	春・秋の市内一斉清掃	共催	沼田市環境保健協議会	道路愛護運動と同時に道路・河川・公園等の清掃作業を実施する。	一斉清掃・道路愛護運動を実施した結果、ポイ捨てごみを中心に、周辺環境の美化が図られた。不法投棄された廃棄物についても、春夏2回の見回りによる発見、清掃も同時に実施され地域環境の維持向上が図られた。また、多くの市民の参加が得られ、住民の環境美化に対する意識の向上が図られた。今後も、より多くの市民に参加していただけるよう沼田市環境保健協議会と協力しながら働きかけていきたい。 (改善点など)事業の継続、維持していくためにもたくさんの市民の方に参加していただくことが重要であり、環境保健協議会の支部長や役員への働きかけにより実施ができた。	いずれの町(支部)も熱心に一斉清掃・道路愛護に取り組んでいただいたと思う。今後もより多くの市民の方に参加していただけるよう、環境保健協議会の会議等において各町の支部長に協力をお願いしていきたい。
20	環境課	有価物集団回収事業	補助・助成	東倉内町リサイクル運動協議会外52団体(NPO法人あおぞら会)	再生可能な資源の回収を集団回収事業により実施	29年度の集団回収事業登録団体は53団体、延べ282回実施され、紙・缶・びん等の再生可能な資源が約588t回収された。昨年と同様、より多くの団体が参加してもらえよう、周知していきたい。市関係部署との連携を図り、新規登録団体を周知していきたい。 (改善点など)登録団体数、実施回数及び回収量は昨年とほぼ同様の結果であった。より多くの団体が参加してもらえよう、前年度の登録団体に登録団体加入への周知のほか、市関係部署と連携を図り、未登録の小中学校をはじめ、スポーツ少年団や老人会等の団体へ募集案内を配付するなどにより、登録団体数、実施回数及び回収量増加への周知を図った。	地域住民および関係者の方々に協力していただき、奨励金を運営費に充てることができた。引き続き、集団回収事業を実施していきたい。 (改善点など)回収量を増加できるように、地域の方々へ、より一層周知を行ってきたい。
21	子ども課	親子ふれあい交流事業	事業協力・協定	沼田市母子会	ひとり親家庭の親子のレクリエーション等の実施	事業の中心となる母子会会員の減少により、事業運営に関わる人材の確保が難しくなっている。事業の実施方法等について検討しているものの、抜本的な改善には至らない状況である。 (改善点など)夏休み親子ふれあい旅行の行き先を母子会会員の意見を反映させた場所にしたところ、多くの参加があった。	企画の中心となる母子会会員の減少が進んでいる中で、今年度は夏休み日帰り旅行の行き先を会員の意見を反映させて東京都内に設定し実施した。参加者に喜んでもらえているので今後も続けていきたい。 (改善点など)より多くの人に参加してもらうため、該当する家庭へ声かけを行った。また、参加者からの意見を事業内容に反映することができた。

22	子ども課	沼田市子育て支援ネットワーク事業	事業協力・協定	沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会	子育て支援団体等ネットワーク事業の実施	子育て支援団体等のネットワーク構築により子育て家庭のニーズ把握が可能となり、ニーズの高い地域子育て支援拠点事業「子ども広場」を保健福祉センターに開設し、支援を進めることができた。(地域子育て支援拠点事業＝市委託事業。ネットワーク推進協議会の参加団体である「NPO法人利根沼田地域ボランティアセンター」が受託)今後は「子ども広場」のテラス沼田への移転拡充に向け、連携して取り組んでいきたい。 (改善点など)各団体及び市との情報共有や意見交換など、お互いに顔の見える連携がとれるようになっていく。平成28年度より意見交換の場に「子育てコンシェルジュ」が参加し、連携体制の強化が図られている。	沼田市子育て支援ネットワーク事業を受けて、平成25年度から沼田市より地域子育て支援拠点事業を委託され(NPO法人利根沼田地域ボランティアセンターとして)、沼田市保健福祉センター3階の子ども広場で、月曜日から金曜日までの10時から15時まで二人のスタッフを常時おけるようになった。協働モデル事業の時には月曜日だけのプログラムを各団体が受け持ったが、常時スタッフがいられるようになったため、利用も相談も格段に増え、子育て支援により大きな役割を果たせるようになったと思う。沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会が事業を主導しているの、2～3か月に一度会議を持ち、報告をし、提案をいただいている。経験豊かなスタッフが連携をとりながら、記録も丁寧に残し、順調に事業が進んでいる。利用者が多いため、長期休みのときに大ホールが借りられるときには借りたり、行政の側でも対策を考えていただいている。今後予定されている子ども広場のテラス沼田への移転拡充に向け、市と連携しながら進めていきたい。 (改善点など)各団体及び市との情報共有や意見交換など、お互いに顔の見える連携がとれるようになっていく。平成28年度より意見交換の場に「子育てコンシェルジュ」が参加し、連携体制の強化が図られている。
23	子ども課	未来のライフデザイン啓発リーフレット作成事業	事業協力・協定	Hug Hapi(はぐはぴ)	未来のライフデザイン啓発リーフレット「ハタチからの参考書」の作成	沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会の参加団体であるHug Hapiの事業協力により、地域の若い世代や子育て世代の等身大の姿が反映された、思わず手にとって読みたくなるような啓発リーフレットが完成した。引き続き同団体との協働により、新たな視点を取り入れながら内容・デザイン等の見直しを行い、より良いものを作成していきたい。 (改善点など)昨年度に作成した冊子の内容を引き継ぎつつ、Hug Hapiのメンバーが新たに企画し取材した内容を加え、より魅力的な啓発リーフレットを作ることができた。	市との役割分担を明確にし、企画・編集についてはパートナーの裁量により作業を進めることができたため、地域の若い世代や子育て世代の等身大の姿が反映された、思わず手にとって読みたくなるような啓発リーフレットを作成することができた。引き続き市との協働により、内容・デザイン等の見直しを行い、より良いものを作成していきたい。さらに、子育て中の方々などに声かけをしてメンバーを増やしながら、リーフレット作成以外にも活動を広げていきたい。 (改善点など)昨年度に作成した冊子の内容を引き継ぎつつ、Hug Hapiのメンバーが新たに企画し取材した内容を加え、より魅力的な啓発リーフレットを作ることができた。

24	子ども課	ハッピープロジェクト事業	委託	ぬまたハッピープロジェクト運営委員会	地域における出会いの場づくり	出会いを応援し沼田を元気にするネットワークとして平成28年8月に設立された「ぬまたハッピープロジェクト運営委員会」には、現在、青少年団体、子育て支援団体、農業団体、など12団体が参加している。ネットワーク主催による、公共施設や観光資源を活用した地域性あふれるイベントや、参加団体の企画による各団体の個性を活かしたイベントを実施することができた。イベントなどの企画は、ネットワークによる企画会議において自由にアイデアを出しながら決定し、地元FM放送やSNSなどを活用したPR活動や当日の運営も協働で実施した。今後も、様々な団体に声をかけをし、ネットワークの拡大を図りながら、より効果的な事業を推進していきたい。	出会いを応援し沼田を元気にするネットワーク「ぬまたハッピープロジェクト運営委員会」として、公共施設や観光資源を活用した地域性あふれるイベントや、参加団体の個性を活かしたイベントを実施し、若い世代に出会いの場を提供することができた。イベントの企画は、ネットワーク構成団体のアイデアをもとに比較的自由的な発想で決定し、事前準備は主に市が事務局として進め、広報活動や当日の運営は協働で実施するなど、効率的な役割分担ができていた。今後も、様々な団体に声をかけをし、ネットワークの拡大を図りながら、地域の長所を活かした事業を展開していきたい。
25	高齢福祉課	市民敬老号事業	事業協力・協定	沼田市老人クラブ連合会	高齢者の親睦と社会見聞を広めるため、2泊3日の県外旅行を実施	老人クラブ連合会が中心となり、高齢者向けの研修旅行先等を検討し、募集においてはクラブの役員がチラシを配布するなどにより、多くの高齢者が参加を促している。毎年参加を楽しみにしている高齢者が多く、大勢の仲間たちとともに親睦を深めながら社会見聞が広められ、事業の目的が十分果たしている状況である。 (改善点など) 今後も、高齢者の安全性や利便性を最優先に考え、毎年参加していただけるようにあらゆる視点から配慮したい。	老人クラブ連合会が中心となり、高齢者向けの研修旅行を企画し、募集においてはクラブの役員がチラシを配布することから、たくさん的高齢者の方が参加している。毎年参加を楽しみにしている高齢者が多く、大勢の仲間たちとともに親睦を深めながら社会見聞が広められ、事業の目的が十分果たしている。今後は、もう少し老人クラブ会員の参加者を増やしていくことを考えたい。 (改善点など) 今後も、企画会社選定にあたっては、安全性・信頼性などを重要視していきたい。
26	高齢福祉課	老人クラブ助成事業	補助・助成	沼田市老人クラブ連合会	単位老人クラブに1年間の活動費の助成として、補助金を交付している。	老人クラブは、地域高齢者全体を視野に入れた健康づくりや介護予防活動、友愛訪問などの地域支え合い活動等に取り組んでおり、地域社会の重要な担い手として無くてはならない存在である。 しかし、全国的に各町のクラブ数、会員数とも減少しており、その流れに歯止めをかけていくことが今後の課題である。 (改善点など) 事業計画における基本方針でクラブ数・会員数の減少に対し、一丸となって取り組むことを理事会・総会で再確認した。各単位クラブ会長が事務書類提出等に負担にならないよう心掛けた。	今後の課題としては、クラブ数、会員数とも減少しており歯止めをかけていくことである。 (改善点など) 事業計画における基本方針でクラブ数、会員数の減少に対して一丸となって取り組むことを理事会、総会で再確認した。

27	高齢福祉課	高齢者筋力向上トレーニング事業	事業協力・協定	老人クラブ、ふれあいいきいきサロン他(老人クラブ)	暮らしに役立つ筋力向上トレーニングを実施しながら仲間づくりを行う。	老人クラブは、地域高齢者の中核的な組織であることから、事業推進の基幹となっているが、近年老人クラブ加入者の減少、老人クラブ自体が解散している地区もあり、組織率の向上が課題となっている。また、地域での住民組織(区長、民生委員、保健推進員など)と連携を深めることにより、地域に密着した活動が期待できる。新たに地区リーダー(福老体操すすめ隊)の養成を開始したので、リーダーが独り立ちして地区で指導できるよう期待している。 (改善点など)筋トレ大会で団体の紹介を掲示して、普及啓発と参加者の意欲向上につなげることができた。教室や出前講座でも紹介して参加の呼びかけを継続し、地区筋トレの維持を支援していきたい。	老人クラブ会員が事業推進の中心となっているが、より多くの人の参加が望まれる。筋トレ活動に参加している人で老人クラブ未加入の人にも加入を呼びかけるなどして筋トレ団体と老人クラブの双方の維持増強に努めたい。他の関係団体(サロンや公民館の教室参加者等)の協力も求めたい。 (改善点など)より多くの人に参加してもらうために、会員同士の誘い合いをしてもらうよう役員会などで呼びかけた。仲間意識が高まり、より地域に密着した活動ができるよう、今後も筋トレ事業を継続していきたい。
28	健康課	地区健康教室	共催	沼田市保健推進員会	地域で健康教室を開催し、こころの健康及び生活習慣病予防等の正しい知識の普及を図る。	・回覧等で周知を行っているが、身近な保健推進員の声掛けが参加者を増やすことにつながっている。地域づくりの一環としても保健推進員の声掛けは効果的である。 ・地区により、教室開催のバラツキがあるため、多くの地区で開催できるように区とも連携を図る。 ・地区ウォーキング教室は保健推進員が考えたコースを下見するなどして決定している。ウォーキング教室は男性の参加も多く好評である。 ・今年度は新たなウォーキングコースとして「環状線ウォーキングコース」を設定。保健推進員会と沼田女子高等学校の生徒でマップを作成した。今後活用していきたい。 ・保健推進員会理事会において、計画や報告などの情報交換を行い、ニーズにあった事業を取り入れて行くことが必要である。 (改善点など) ・教室を開催していない地区に対する働きかけとして、第1回の理事会の時に各地区担当保健師が同席し、その場で話し合いをし実施を検討することができた。 参考：H29年度開催数23回 人数274人(H28年度開催数16回 参加人数255人)	・地区健康教室は、保健推進員が、地区担当保健師と地区役員との連絡調整を図り、多くの住民の方に参加してもらえるように準備している。地域住民の要望を保健師や栄養士に伝え、ニーズに合わせた講話をしてもらうように働きかけている。 ・また、地区(地域)の行事等に保健推進員として協力し、地域のネットワークを強くできるよう計画する。 ・健康講座や講演会、講習会などにできるだけ参加し、健康に関する知識を学び、学んだことを住民の方に広めていく。 ・地区ウォーキング教室開催時、作成したウォーキングマップを地域の方に活用してもらえるよう広めていく。 (改善点など) ・地区ウォーキング教室や健康教室を開催する地区が増えた。それらのことにより、健康に関する正しい知識・運動することの大切さや楽しさを広めることができたのではないかと考える。
29	産業振興課	沼田まつり	実行委員会・協議会	沼田まつり実行委員会	各部会を設置し、各種団体の協力を得て沼田まつりを開催する。	平成29年度の入込数は、23万人であった。	平成29年度の入込数は、23万人であった。
30	産業振興課	新規学卒就職者激励親睦のつどい	共催	沼田地区労働教育委員会	利根沼田地区の事業所に就職した若者の激励と親睦を図る。	平成29年度の参加者数は18事業所60名であった。	平成29年度の参加者数は18事業所60名であった。

31	産業振興課	利根沼田勤労者ソフトボール大会	共催	沼田地区労働教育委員会・沼田市ソフトボール協会 (沼田地区労働教育委員会)	勤労者の体力づくりと親睦を図るため、ソフトボール大会を行う。	平成29年度の出場者数は17事業所21チーム344名であった。	平成29年度の出場者数は17事業所21チーム344名であった。
32	産業振興課	利根沼田勤労者卓球大会	共催	沼田地区労働教育委員会・利根沼田卓球協会 (沼田地区労働教育委員会)	勤労者の体力づくりと親睦を図るため、卓球大会を行う。	平成29年度の出場者数は12事業所24チーム134名であった。	平成29年度の出場者数は12事業所24チーム134名であった。
33	産業振興課	新規学卒就職者研修会	共催	沼田地区労働教育委員会	新規就職者を対象に社会人の自覚を促し、勤労意欲の向上を図るために研修会を開催する。	平成29年度の参加者数は30事業所101名であった。	平成29年度の参加者数は30事業所101名であった。
34	産業振興課	利根沼田勤労者美術展	共催	沼田地区労働教育委員会	勤労者の相互理解、勤労意欲の向上等のために美術展を開催する。	平成29年度の出場者数は94名、出品点数は113点であった。	平成29年度の出場者数は94名、出品点数は113点であった。
35	産業振興課	児童木工工作大会	補助・助成	沼田木材組合	子どもたちに木のぬくもりと有益性を認識してもらうため、木工工作大会を行う。	特記事項はなし	特記事項はなし
36	産業振興課	ニュー木工工作広場	補助・助成	利根沼田建築相互組合	地元産木材のPR及び住民交流等のために木工工作広場を開催する。	特記事項はなし	特記事項はなし
37	産業振興課	沼田市産業展示即売会	実行委員会・協議会	沼田地区地場産業振興協会	本市地場産品の総合展示・即売、各種催事の実施	平成29年度の出展者数は2日間合計で86業者、入場者数は2日間合計で約30,000人であった。来場者数を増やすため、ステージイベントの改善やテントの配置等が課題となる。	平成29年度の出展者数は2日間合計で86業者、入場者数は2日間合計で約30,000人であった。来場者数を増やすため、ステージイベントの改善やテントの配置等が課題となる。
38	農林課	沼田市農業まつり	実行委員会・協議会	沼田市農業まつり運営委員会 (利根沼田農業協同組合)	農産物直売、抽選会など多彩なイベントにより農業のアピールと交流	・沼田市、利根沼田農業協同組合、沼田市農業委員会が共催となり、多くの農業関係者の協力を得て開催していることから、農業関係者間の交流を図るとともに、安心安全な農産物の提供を通して、来場される消費者との交流も図られている。 ・事業費の節減に努めるほか、提供品の有料化、出店料等についての検討が必要である。 (改善点など) ・経費節減の検討は引き続き行う必要がある。 ・参加者が減少傾向にあるため開催方法の検討が必要である。	農家と消費者の交流が図られ、農家の育てた安心・安全な農作物を直接消費者に販売し、地産・地消運動の実践ができ、農家への理解と信頼を深めることができた。 (改善点など) ・経費節減の検討は引き続き行う必要がある。 ・参加者が減少傾向にあるため開催方法の検討が必要である。
39	農林課	認定農業者協議会活動支援事業	補助・助成	沼田市認定農業者協議会	認定農業者協議会活動費補助	平成22年4月12日に沼田、白沢、利根の各協議会が合併し、新たな「沼田市認定農業者協議会」がスタートした。会員数も236名と多くの会員をかかえ、認定農業者が経営改善や規模拡大に取り組めるよう情報を共有できる組織運営が必要となる。	平成22年4月12日に沼田、白沢、利根の各協議会が合併し、新たな「沼田市認定農業者協議会」がスタートした。会員数も236名と多くの会員をかかえ、認定農業者が経営改善や規模拡大に取り組めるよう情報を共有できる組織運営が必要となる。

40	農林課	生活研究グループ活動支援事業	補助・助成	沼田市生活研究グループ	生活研究グループ活動費補助	各種イベントを通じて、地場産農産物を利用した料理や郷土料理などを試作・発表するとともに、食育についても率先して事業計画を練り、都市住民、地域住民、子どもたちの農産物の食への関心の高まりに効果をあげている。	各種イベントに参加することにより、世代間の交流や多くの参加者と触れあうことができた。
41	農林課	地域農政推進委員会支援事業	補助・助成	沼田ほか7地区地域農政推進委員会(沼田地区)	地域農政推進委員会補助	今後も、農業振興に対する意見聴取や情報交換等を行い、組織として情報を共有し検討していく必要がある。 (改善点など)事務局と連携を図り必要な活動の検討を行う。	今後も行政と一体となり、情報交換等により情報を共有しながら事業に取り組む必要がある。 (改善点など)市と連携を図り必要な活動の検討を行う。
42	農林課	森林づくりボランティア推進事業	事業協力・協定	ボランティア希望者(森林づくりボランティア事務局)	ボランティア登録者による森林整備	近年は、環境問題への関心の高まりとともに、ボランティア活動を行う機会も増えてきている。そのような状況下で有意義な森林整備ができた。 参加者は、高校生から林業事業者まで技術に大きな差があるため、活動場所の森林については、いろいろな作業ができるような場所を選定したい。	今回は参加できたが、今後も無理のないように参加したい。
43	農林課	みどりの小径整備事業	事業協力・協定	地元住民(高橋場町商工会)	地元主体の遊歩道の維持管理	地元要望に基づき整備し、地元において維持管理することで事業を実施してきた。本年度も協定に基づいて協働事業を行う事により、適切な管理が図られた。	協定書に基づき協働事業を行う事により、みどりの小径の適切な管理が図られた。
44	観光交流課	交流居住促進事業	実行委員会・協議会	沼田市交流居住促進協議会	都市部との交流事業の促進・移住希望者等受け入れの環境整備	都市間交流については、災害や環境に関する協定を結んでいる新宿区や板橋区、港区などとの交流は年々幅を広げ、徐々に根付いてきている。移住・定住についても移住相談会や移住セミナーに積極的に参加し、移住者の実態把握や他市の取り組み等、情報収集を行っているが、市での受け入れ体制が不十分であり、今後の課題である。 (改善点など)移住・定住について移住相談会や移住セミナーに積極的に参加し、移住者の実態把握、他市の取り組み等の情報収集を行っている。	移住・定住についての施策を効果的に実施していく中で、本市の状況だけでなく、他市の状況や全国的な移住者の実態等を市と協議会で共有していく必要がある。
45	観光交流課	観光ボランティアガイド	事業協力・協定	沼田市観光協会	観光ボランティアガイドによる観光宣伝	大河ドラマ真田丸や続100名城登録などをきっかけに来訪する観光客に向けて、沼田の歴史や文化をアピールすることができた。	大河ドラマ真田丸や続100名城登録などをきっかけに来訪する観光客に向けて、沼田の歴史や文化をアピールすることができた。
46	観光交流課	沼田市観光協会事業	補助・助成	沼田市観光協会	観光農園、飲食店等の紹介やキャンペーンの実施	本市の情報だけでなく、周辺自治体とも情報を共有することで、地域に訪れる観光客の利便性のさらなる向上を図る。 (改善点など)3城連携(沼田城・名胡桃城・岩櫃城)事業に取り組んだ事により、周遊されるお客様が増えた。	本市の情報だけでなく、周辺自治体とも情報を共有することで、地域に訪れる観光客の利便性のさらなる向上を図る。 (改善点など)3城連携(沼田城・名胡桃城・岩櫃城)事業に取り組んだ事により、周遊されるお客様が増えた。

47	観光交流課	白沢農産物収穫感謝祭	実行委員会・協議会	白沢農産物収穫感謝祭実行委員会 (株)白沢振興公社)	秋の味覚のPRと、消費者に感謝の気持ちを込めて特価販売を行う。	秋の行楽シーズンに開催し、晴天にも恵まれたため、大盛況であった。出展協力者のテント販売も盛況で、イベントとしては成功であったと思う。芝生広場が活用できなかったの、利用方法について検討したい。	市と協力することで幅広い情報の発信(地元紙や地元FM局などの協力を得られた。)ができ、大変多くのお客様に同イベントを楽しんでいただくことができた。天候不順により出荷額が例年より揃わず結果前年を下回る形となってしまった。対外への告知は十分行っているが、今後は内側(生産者組合)への発信にも力を入れイベントに参加する生産者を含め出荷額の総量を上げていくことも課題としたい。
48	観光交流課	白沢高原りんご&ぶどう祭り	実行委員会・協議会	白沢高原りんご&ぶどう祭り実行委員会 (白沢りんご研究会)	秋の味覚のPRと、お客様参加型イベントによる交流。	オープニングセレモニーの実施方法を見直した結果、多数の参加者を迎えることができ、運営がスムーズにできた。お昼の時間帯にお客様が少なくなる傾向があるが、招待した上州真田武将隊が呼び込みをしてくれたため、午後のイベントも盛況だった。	昨年同様開会行事も含めてイベント進行がスムーズにできた。真田武将隊による演舞、じゃんけん大会も大変好評だった。
						(改善点など)屋外のイベントで天候に左右されるため、荒天時の対応を予め決めておいた。	(改善点など)イベントを午前、午後の部で分け集客を図った。
49	都市計画課	公園管理事業	事業協力・協定	薄根町区外9団体	公園の維持管理を地元住民との協定により実施し、利活用を図る。	公園運営委員等の高齢化が進み世代交代が急務な団体も存在する。	地域で公園の企画運営をすることで、利用団体や利用時間等を適切に把握し、効率的な公園管理が図れた。
						(改善点など)実態把握のため日報提出をお願いした。	(改善点など)平成29年度より作業日報を提出した。
50	都市計画課	市民緑化推進事業	補助・助成	桜町城堀川緑化会外18団体	緑化推進事業に対する補助金の交付	広報等を通じ広く市民に周知しており、緑と花のあるまちづくり事業については毎年新たな参加団体があるが、生け垣奨励事業は民間建築状況により左右されるため、年度毎の申請件数に差が生じている。また、壁面等緑化奨励事業については、対象地域が限定されているため、ほとんど申請が無い状況である。	道路沿線等を緑化することにより、生活環境の向上が図られた。
51	街なか対策課	中心市街地活性化の会補助事業	補助・助成	沼田市中心市街地活性化の会	中心市街地の活性化を目指し、よりよいまちづくり実現に向けた事業への補助金交付	中心市街地活性化の基盤となるハード事業(にぎわいの核整備事業/土地区画整理事業)は徐々に進捗しているが、それ以外のソフト施策等について、さらに協働パートナーと協議を進めていきたい。ほか、協働パートナー以外の関係者もさらに取り込み市民全体の課題として取り組むことができればと考える。	区画整理事業をベースにしているため、権利調整に時間がかかる。先行きが不透明のため会員に脱力感を感じられている方が多くなっていたが仮換地指定場所の事業実施希望も感じられる。2街区と4街区の東地区も事業が進み、予定の福祉複合施設も年内完成の目途が立った。にぎわいの核の旧土岐邸の移築が始まり、にぎわい施設も実施設計となって行く。1街区の電柱埋設工事でも進み、歩道が広がり市民にまちづくりのハード部分が提示できる。まちづくりは永遠に続けるので、活性化は今行えること、実験してみることで、区画整理後の目標とを合わせて行う難しさがある。

							(改善点など)まちづくりを進める上でハードとソフトは一体であり、ハードの区画整理の推進とソフト事業のできるところから進めながら実績を挙げていく。一部専門家を国より派遣していただき、ハード・ソフトの両面を指導していただき個人の単なる再建でなく、街が必要としているものを今後まちづくり事業として導入して、市民から支持されるまちにしたい。
52	学校教育課	沼田市スポーツエキスパート活用事業	事業協力・協定	中学校運動部活動の外部指導者(白沢中学校)	運動部活動の指導充実と地域社会の連携を促進するため、外部指導者を委嘱し、実技指導及び助言をいただく。	本事業は、地域の教育力を活用するという意味において、今後も市民の専門的な知識能力を活用することにより、学校側で必要としている人材の確保を図り、事業実施の拡大に努めていく必要があると思う。地域に存在する指導者の発掘が重要である。 地域に存在する指導者の発掘が重要である。	・指導経験の無い教師が顧問になったことに対しての、保護者の不安が軽減された。 ・年間の回数については、実情に合わせ柔軟に対応していただけるとありがたい。 (予算立ての面で難しいと思いますが、回数をオーバーしてボランティアで指導していたいている実情がある) ・生徒に対する技術指導だけではなく、顧問教師に対しても指導方法等を伝授していただいている。
53	学校教育課	学校支援センター運営維持事業	事業協力・協定	各小中学校PTA役員、各種社会教育団体(沼田小学校)	地域や学校実情に合わせ多様な学習を行うための外部講師や安全確保、教育環境の整備など、ボランティアの協力を得て実施する。	学校支援センターの機能を充実させるためのリーダーとなるコーディネーターの発掘と育成が必要となる。 学校地域支援本部事業が、国・県・市町村で1/3での補助事業に変更となったため、今後事業費の縮小が予想されるが、補助事業終了後においても、地域ボランティアと協働して事業実施が行えるような体制整備が必要となる。 平成24年度より学校地域支援本部事業については、社会教育課を担当課として事業実施を行うこととした。	・現在のところ、読み聞かせやペルマーク整理、また授業協力などで円滑な協力体制ができている。今後も無理なく支援の範囲を広げていければと考えている。 ・ボランティアの役割、学校の役割をお互いに理解した協力体制を継続していきたい。
54	社会教育課	沼田市文化祭開催事業	委託	沼田市文化協会	市民の作品展示・舞台発表などにより、芸術文化の普及発展、意欲向上を図る。	特記事項はなし	特記事項はなし
55	社会教育課	家庭健全化運動推進モデル地区開催委託事業	委託	沼田地区青少年育成連絡協議会	沼田地区の情報交換会及び上毛かるた大会の開催	特記事項はなし	特記事項はなし
56	社会教育課	市民体力づくり歩け歩け運動大会委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	市民の体力向上と青少年の健全育成のための歩け歩け運動大会の実施	特記事項はなし	平成31年度は、50回大会となる。
57	社会教育課	子ども会ボランティア活動開催委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	子ども会を単位とした清掃活動等のボランティア活動の実施	特記事項はなし	地域を見つめ直し、ボランティア精神を養う、家庭教育支援として有効である。

58	社会教育課	青少年指導者会研修委託事業	委託	沼田市青少年指導者会	青少年健全育成を支援する青少年指導者会の研修会の実施	特記事項はなし (改善点など)人数は少ないが、入会者はい る。	・研修会の実施により、青少年健全育成事業 等への支援がスムーズに行えた。 (改善点など)人数は少ないが、入会者はい る。
59	社会教育課	青少年育成推進員 等研修会及び情報 交換会委託事業	委託	沼田市青少年育成 連絡協議会	青少年育成大会及び研修会の実施	インターネットやSNSについての対策が、必 要となっている。	インターネットやSNSについての対策が、必 要となっている。
60	社会教育課	子ども会行事開催 委託事業	委託	沼田市青少年育成 連絡協議会	かるた大会の開催により子ども会活 動の活性化と会員相互の親睦を図 る。 (改善点など) 沼田かるた大会において、2チームの出場を 認めた。 沼田かるたの改定を検討している。	特記事項はなし (改善点など) 沼田かるた大会において、2チームの出場を 認めた。	特記事項はなし (改善点など) 沼田かるた大会において、2チームの出場を 認めた。
61	社会教育課	初級指導者養成講 座委託事業	委託	沼田市青少年育成 連絡協議会	青少年地域活動リーダーの養成講 座の実施	参加者の減少により、後継者不足が懸念さ れる。	出席率が良くないため、開催時期や方法等 の検討をしている。
62	社会教育課	沼田市成人式開催 委託事業	委託	沼田市成人式実行 委員会	成人を祝う式典の開催 (改善点など)文化会館改修工事に伴い、民 間施設での実施となった。	成人年齢の18歳引き下げへの対応が、今後 の課題となる。平成30年度は文化会館で開 催する計画である。 (改善点など)文化会館改修工事に伴い、民 間施設での実施となった。	成人年齢の18歳引き下げへの対応が、今後 の課題となる。文化会館改修工事に伴い、民 間施設での実施となった。
63	社会教育課	青少年自然体験活 動推進事業	委託	沼田市青少年育成 連絡協議会	集団生活に耐えられる意志・体力を 養うための野外体験活動の実施	少子化等に伴い、参加者の減少が懸念され る。	ジュニア・リーダー(高校生指導者)の減少が 懸念される。
64	社会教育課	市民ハイキング	事業協力・協 定	沼田山岳会	参加者を募集し、利根郡片品村の鳩 待峠を基点に竜宮小屋などを経由す る尾瀬ヶ原においてハイキングを実 施する。	年1回、事業を実施しているが、参加者も高 齢になりつつあるため市民のニーズに応える コース選定と安全の確保は、変わらぬ課題で ある。	年1回、事業を実施しているが、参加者も高 齢になりつつある。市民のニーズに応える コース選定と安全確保の両立が、常に課題 である。
65	社会教育課	利南公民館まつり	共催	利南地区民生児童 委員協議会、利南 女性学級有志、利 南地区内若妻会、 利南地区老人クラ ブ連合会 (利南地区民生児 童委員協議会)	作品の出展、参加をとおして地区民 の親睦と個々の資質の向上を図り、 連帯感を深め、地域の発展に寄与す る。	・地区内団体や公民館教養教室及び公民館 を利用している自主サークルに作品展示と交 流の場を提供している。 ・来館者の拡大により、公民館活動への理解 と地区民相互の親睦を図りたい。 ・昨年度まで協働パートナーの中心を担って いた利南魁の会が平成29年3月に解散して しまったが、新たに利南地区民生児童委員 協議会と利南女性学級有志の協力を得ら れ、「みそおでんコーナー」及び「バザーや湯 茶等接待」を行うことができ、来館者アンケ ートにおいて好評いただいた。	・利南公民館まつりは、昨年度まで利南魁の 会を中心とする地域女性による「湯茶等の接 待」が行われていたが、平成29年3月に利 南魁の会が解散してしまったため、私たち利 南地区民生児童委員協議会が協力を申し出 た。また、利南女性学級有志の方の協力も得 られた。今年度は引き続き行った茶道の和空 会裏千家による「茶道コーナー」のほか新た に利南地区民生児童委員協議会による「み そおでんコーナー」と利南女性学級有志によ る「バザーや湯茶等の接待」を行うことがで き、好評であった。出品された作品の魅力も さることながら、「もてなす心」を大切にした各 コーナーの出展が特徴となっており、地域の 和を深める良い公民館まつりになったと思い ます。

66	社会教育課	利南若妻女性学級	実行委員会・協議会	利南地区内若妻会	若妻会会員、地区内の女性を対象に、受講生の要望に添った内容の教室を運営委員会により計画し開催する。	・教養教室の充実を図るとともに、受講生の要望した教室を開催することができた。 ・受講生の要望する教室だけでなく、行政や地域が抱える課題に関する教室を開講し、地域住民と検討できる機会を設けられたらと考える。 ・普段就労している受講生が多く、参加できる受講生の絶対数が少なくなっている。	・受講生の要望に添った教室が開催され良かったと思います。 ・近年は、就労する女性が多くなったことから、平日の日中に開催する教室に参加できる方が少なくなってきました。会員が固定化し、新規参加者が少ないことが懸案事項です。 ・別室で子どもを一時預かってもらえると、幼児を持つ母親も参加しやすくなると思います。
67	社会教育課	池田高齢者教室	実行委員会・協議会	池田地区老人クラブ連合会	運営委員会を組織し、年度当初に年間計画を作成し、池田地区在住の65歳以上の男女を対象に、講座を実施している。	住民が参加しなくなるような講座を、パートナーである「池田地区老人クラブ連合会運営委員」と知恵を出し合い考えている。運営委員会を開催し、ニーズに合った講座を開催できるように努力している。	参加者が参加しなくなるような講座等を、パートナーである市(公民館職員)と知恵を出し合い考えている。運営委員会を組織し、ニーズに合った講座を開催できるように努力している。
68	社会教育課	池田地区文化祭	共催	池田地区振興協議会他 (池田地区振興協議会)	文化祭の開催	園児から高齢者まで多くの作品が出展され、一定の成果は得られたと思われる。また、作品を出展することにより、地域住民の生涯学習の意欲の向上が図られている。	園児から高齢者まで多くの作品が出展され、一定の成果は得られたと思われる。また、作品を出展することにより、地域住民の生涯学習の意欲の向上が図られている。
69	社会教育課	薄根公民館生涯学習『薄根高齢者教室』	実行委員会・協議会	薄根地区老人クラブ連合会	薄根地区在住の高齢者を対象とした講座の開催	一定の成果は得られたと思われるが、更に多くの高齢者に参加していただけるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。	一定の成果は得られたと思われるが、更に多くの高齢者に参加していただけるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。
70	社会教育課	薄根公民館生涯学習『薄根女性学級』	実行委員会・協議会	沼田市薄根婦人会	薄根地区在住の女性を対象とした講座の開催	一定の成果は得られたと思われるが、更に多くの女性が受講しなくなるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。	一定の成果は得られたと思われるが、更に多くの女性が受講しなくなるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。
71	社会教育課	薄根公民館まつり	共催	薄根地区振興協議会 他 (薄根地区振興協議会)	公民館まつりの開催	園児から高齢者まで多くの作品が出展され、盛大に開催されており、一定の成果は得られたと思われる。今回はパートナーから小学生の敬老作文朗読発表を行いたいのが要望があり、実施したところ好評であった。	園児から高齢者まで多くの作品が出展され、盛大に開催されており、一定の成果は得られたと思われる。今回新たに小学生の敬老作文朗読発表を提案し、実施することができた。
72	社会教育課	川田地区民展	実行委員会・協議会	川田地区振興協議会、川田地区青少年育成連絡協議会ほか (川田地区振興協議会)	川田地区民が制作した作品展示と表彰式の開催	地区民や教養教室生から多数の作品が出品され、相互の親睦が図られた。保育園児、小・中学生の作品については、審査と表彰を行うことで子どもたちの創作意欲の向上が図られ、成果を上げている。	JA協賛イベント、フラワーアレンジメント体験教室、ボランティアによる接待など、多大な協力をいただき盛大に開催することができた。
73	社会教育課	エコ・プロジェクトinかわだ	共催	利根実業高等学校、川田保育園、川田簡易郵便局 (川田保育園)	緑のカーテンづくり	ゴーヤの植え付け作業を通じて、保育園児と利根実生のふれあい・交流が図られた。複数の施設で実施したことにより、事業の趣旨を広く周知することができた。	ゴーヤの植え付け作業を通じて、保育園児が利根実生とふれあうことができた。植物の栽培体験や、ゴーヤのおやつを試食により食育を行うことができた。
74	社会教育課	白沢町高齢者教室	事業協力・協定	白沢町燦々会	白沢町在住の60歳以上の高齢者を対象とした講座の開催	運営委員会において活動内容を検討。意見や要望を取り入れて教室に反映させることができた。運営委員による学習会の周知等により、参加者も多く、事業効果を高めている。	運営委員会において活動内容を検討。意見や要望を取り入れて教室に反映させることができた。運営委員による学習会の周知等により、参加者も多く、事業効果を高めている。

75	社会教育課	白沢町文化祭	共催	沼田市文化協会白沢支部	文化祭の開催(計画立案含む)。	継続的に出品している参加者も多く、町民の文化の向上に寄与している。地域に根付いた事業であることから、今後も継続していくことが望ましい。	継続的に出品している参加者も多く、町民の文化の向上に寄与している。地域に根付いた事業であることから、今後も継続していくことが望ましい。
76	社会教育課	おはなしポケット	事業協力・協定	沼田読み聞かせの会	子どもを対象にした読み聞かせ	乳幼児期から学童期は子どもの情緒的・言語的発達において極めて重要な時期であるため、図書館での読み聞かせとともに、家庭における読み聞かせを始めるよい機会となればと考えている。	子どもの読書活動の推進と図書館利用の促進が図られている。安定した子どもたちの参加があり、大変好評である。
77	社会教育課	ブックスタート	事業協力・協定	ブックスタートボランティア(沼田読み聞かせの会)	赤ちゃんと保護者のふれあいを絵本を介して応援する。	平成18年からスタートしたブックスタートは10年以上経過し、2人目、3人目というお母さんも多くなった。ブックスタート・バックの資料が子育てに役立ち、それを機会に読み聞かせを続けているお母さんの声から事業成果を実感できている。	赤ちゃんに会えるのがとてもうれしく、絵本を読んでもあげたときの赤ちゃんのかわいい反応をお母さんと一緒に楽しく体験しています。ブックスタートを通して、地域に子育てを応援する人がたくさんいることを知ってもらったり、赤ちゃんが参加できる様々な活動に出会ったりすることで、保護者が安心して子育てができるきっかけになると良いと思います。参加したお母さんに大変好評です。
78	文化財保護課	茶会開催業務	委託	沼田茶道会	旧土岐邸洋館において桜の時期の休日にお花見添え釜を開催	茶道各流派によって様々な趣向を凝らした茶会が開催できた。桜の時期に重なっていることもあり、また、本年についてはNHK大河ドラマ真田丸放映終了後の余韻の影響もあり、来場者は比較的多く盛況であった。施設の利活用に関して、茶道会に委託した本事業が大きく貢献している。 また、茶道のPRなども同時に行え、文化レベルの向上の相乗効果も得られている。沼田公園もとてもよく整備されており茶道会役員も気持ちよく実施できたと思われる。 (改善点など) 本年は、NHK大河ドラマ真田丸が終了したこと、また、桜の開花が遅くなるなどの原因から昨年ほどの来場数を獲得することはできなかったが、まずまずの成果を収めることができた。来年度は旧土岐邸の移築を控えており実施の有無から再検討する必要があるが、文化振興に良い効果が見込める事業であるため、沼田茶道会と綿密に協議を行い引き続き実施できるよう検討していきたい。	トラブルもなく、無事終わることができほっとしています。 今後も、市から宣伝をつづけていただき来場者が増えることを願っています。 今後も長く続いていけばいいなと思っております。 本事業外ではありますが、沼田公園がとてもきれいに管理されており、桜の時期以外でも花などとてもきれいなので、カフェなどあればより賑わうかと思います。 (改善点など) 流派によって様々な趣向を凝らした茶会がスムーズに開催できました。 本事業は3日間連続して実施したため、桜の花の有無によって来場者の差が生じたため、次回は、桜まつりにあわせるなど再度日程を調整したい。
79	スポーツ振興課	体力テスト等開催事業	事業協力・協定	沼田市スポーツ推進委員会	新体力テスト、ニュースポーツ体験及び講習会等の開催をすることにより、健康の保持増進活動の場を提供する。	毎年継続して参加していただいている方々に加え、新たな参加者の増加を図るためのPRが課題である。また、年齢層が60歳以上の方が大半を占めているため、若年層や親子連れ等で参加していただけるよう工夫を凝らしたい。 (改善点など) 新体力テスト及びニュースポーツ体験を同時開催することにより、参加者の増加を図った。参加者が興味を持っていたけるよう、取り組んでいきたい。	土曜日の開催であるため、当日動員できるスポーツ推進委員の数が少なかったため、担当場所を臨機応変に変更し対応した。他の行事と調整し、日曜日の開催を検討したい。 (改善点など) 担当場所を臨機応変に変更し、終了することができた。より多くの委員が動員できるよう呼びかけていきたい。